

新宿通信

NO. 60

令和2年12月25日

東京都立新宿高等学校

進路指導部

- 一年を振り返り、新たな決意を
- 進研模試の結果（1、2年）
- 大学入学共通テスト迫る（3年）

一生懸命を楽しもう

保健体育科 佐藤 拓

この言葉は、私の出身校である神奈川大学のサッカーチームのスローガンです。私にとって、大学の4年間は、高校生活とは比べ物にならないほど、自分を鍛える期間でしたが、あの時間がなければ、今の自分はないといいと確信しています。

私は神奈川県の某高校の出身です。卒業生には小泉純一郎さんや小柴昌俊さんがいる学校です。校風は、自主自立・自学自習・文武両道です。校則はほぼ無し。自分たちで行事を運営し、部活動も生徒が中心となって進めていくような学校でした。一見すると、生徒の意見が尊重され、素晴らしい学校だと感じる人も多いと思います。しかし、妥協しようと思えばいくらでもできる環境です。私は、そんな環境で自分をマネジメントすることができず、勉強・部活動において、望んでいた結果が出せませんでした。その程度の高校生でした。

しかし、私の人生は大学の4年間で大きく変わります。所属したサッカーチームは、毎年Jリーガーを輩出するような名門でした。100名近い部員がいる中で、自分が試合に出るために、「今、何をしなければいけないのか」を真剣に考えるようになりました。1年生だけが行う朝練、授業後の練習だけでは足りず、夜に自主練も行いました。さらに、ライセンスを取得して、審判活動や中学生の部活動指導にもチャレンジしました。目まぐるしいスピードでやってくる24時間を、どれだけ充実したものにできるかに尽力していました。どんなにキツイ状況でも、寝る時に感じる「今日も1日やりきった」という達成感の積み重ねが自分の成長につながると信じていました。そんな、気を抜くことのできない日々が楽しかったのか・・・？私は、最高にキツくて、最高に楽しかったです。キツいことに一生懸命に向き合おうとすると、ネガティブな気持ちが湧いてきたり、視野が狭くなったりします。そんな時こそ、その状況は自分が成長している証拠だから笑顔で楽しもう。そう思って日々を過ごしていました。すると、今まででは見えてこなかった、支えてくれる人への感謝や、仲間と一緒に頑張ろうという気持ちが芽生えています。それこそが、「一生懸命を楽しもう」です。

高校生活に限らず、これから的人生で、キツいと感じたり、もうやめたいなど感じたりする時がくると思います。そんな時がきたら、「今、自分にできることは何かを考え、行動に移し、その状況を笑顔で楽しんでほしい。」やらなかつたことで感じる後悔は一生残ります。まずは、残りの高校生活で悔いを残さないよう、「毎日を全力」で過ごし、「何事にもチャレンジ」してみよう！そうすればきっと、自分が思い描く最高の自分に出会えるはず。応援しています！



□ 一年を振り返り、新たな決意を

今年も残すところわずかになってしまいました。あと6日ほどで2020年が終わります。今年は、コロナ禍の中で先が見えない生活を強いられ、不安な思いをした人が多いと思います。しかし、その中でも頑張ったことやできたこと、逆に怠けてしまったことやできなかつたことがあるでしょう。今年一年が、皆さんにとってどんな年だったか、この機会に振り返って冷静に自分を見つめ、来年の飛躍に繋げてください。

一年前の今頃、1年生はまだ中学生で、高校受験を目の前にして必死に勉強していましたね。その甲斐あってみごと新宿高校に合格。コロナ禍による不安も、入学後に想定と違うものもあったでしょうが、希望を胸に入学してきたはずです。その時の決意をもって、今も学校生活に勉強に、全力を注げているでしょうか。

2年生の皆さんには、学校行事でも部活動でも、中心学年となった一年間でした。一方で責任や役割が大きくなり、一方でさまざまなことがこれまでと違い、大変だったことでしょう。さあ、この先にあるのは3年0学期。この時期の重要性については、この進路通信で何度も掲載してきました。今が切り替えの時です。2年生までに終わらせておくべき課題は、この冬休みから計画的に取り組み、ベストの状態で3学年を迎えましょう。

そして3年生。いよいよ追い込みです。実力を遺憾なく発揮できるよう、まずは、感染予防・体調管理に万全を期してください。4月には人生の新しいステージが待っています。「つらいときは、4月に自分はどこにいるのか、そこにいる自分を何度も思い描いた」と先輩が合格体験記に書いています。意志あるところに道は開ける。頑張りましょう！思い通りにならないことがあってもあまりくよくよせずに、大きく構えることも必要です。「これまで頑張った、だから大丈夫」と、自分を信じて、少し気持ちを楽にして、これから数ヶ月を乗り切ってください。

○進研模試の結果（1・2年）返却

11月に実施した進研模試の結果が返却されました。全体的な傾向としては、1年生は7月の模試と比べ、国数英3教科の平均偏差値は0.9ポイント

アップしました。過去の学年の同じ時期の模試結果と比較しても遜色ない、むしろ高い結果です。2年生は7月の模試に比べ、国数英3教科の平均偏差値は2ポイントアップ！英語1.6ポイント、数学3.6ポイント、国語0.8ポイントと、全教科のアップです。

もちろんこれらは平均値の話であって、個々の生徒を見ると結果はさまざまです。肝心なのは自分がどうだったかということですから、平均偏差値は関係ないと言えなくもないかもしれません。しかし、こうした平均値は教室での活気や学習意欲に微妙に影響するものです。一人一人の努力の結果として、新宿高校全体で、じわりじわりと成績を上げていこうという気運が必要です。

今、皆さんのクラスはそういう雰囲気になっているでしょうか？3年生の教室は、行事が終わると途端に受験スイッチが入り、わずかな休み時間も単語帳を開き、黙々と勉強している人が多くなります。2年生はどうでしょうか？1年生も、自分たちの学習環境を今一度見直してみましょう。

○3年生の自宅学習について

今年度は、新型コロナウィルス感染症の影響から、3年生の1月5日以降を原則として自宅学習とします。自習室を利用する、講習を受講する、その他個別指導を受けるなど理由がある人は、担任の先生の許可のもと登校してください。全員登校となるのは、1月4日（月）、18日（月）、22日（金）です。

例年よりも自宅学習期間が長くなっただけで、自宅での過ごし方、学習計画のたて方、そしていかに自分自身をコントロールできるかが重要になります。まずは部屋の片づけをすることから。学習環境を整え、情報を整理して、集中できる環境を作りましょう。長いと思える時間も、過ごしてみるとあつという間です。何かするにも、担任の先生や教科担当の先生と予定を合わせなければならないかもしれません。時間を有効に使えるように計画をたてて取り組みましょう。教科担当の先生に個別指導をお願いする場合は、どのように予定するか、早めに相談に伺いましょう。

考えてみれば、自宅学習期間が長くなるということは、自身の思うように時間を使い、受験勉強に取り組めるということです。この状況をプラスにするのは自分自身です。頑張りましょう。

○大学入学共通テスト 迫る

1月7日（木）、8日（金）、3年生は第2回共通テストシミュレーションを行います。今年度は、問題を1月4日に持ち帰り、原則として自宅受験です。受験案内を確認の上、自宅で机の上を片付け、机の上に出しておけるものを確認して、本番と同じように取り組んでみてください。本番会場と同様に、マスクをして行うことをおすすめします。また、当日は会場に向かうために、朝早く起きるはずです。その時間に起きて、自分の頭がしっかりと働くかチェックしましょう。

いよいよ大学入学共通テストの受験票が届きました。受験教科・科目の種類によって会場が割り振られているようです。3年生は自分の受験票で試験会場を確認してください。また、冬休み中に会場の下見をしておくことをお薦めします。会場までの経路を確認し、万一電車の遅延などがあっても間に合うよう、時間に余裕をもって向かうように計画してください。

受験票と一緒に「受験上の注意」という冊子が配布されました。冊子右上に「重要」と書かれているように、とても大切な冊子です。冬休み中に冊子を熟読してください。例えば次のようなことについて書かれています。

Q 受験票の確認のポイントは？

Q 写真票に使える写真は？

Q 当日、受験票や写真票を忘れたらどうする？

Q 何分までの遅刻なら許されるのか？

Q 上履きは持参するのか？

Q インフルエンザやノロウィルスに感染したら？

Q マークするのに鉛筆以外も使えるか？

Q 机に置いていいものは？

Q 集中するために耳栓は使えるか？

Q コート類を着て受験してよいか？

Q 座布団や膝掛けは使ってよいか？

Q 定規やコンパスは使えるか？

Q リスニングのICプレーヤーが不調の時は？

Q 直前の怪我で受験できないときは？

Q 当日の朝、電車が止まって間に合わない時は？

Q 追試の試験会場は？そもそも追試って？

これらは抜粋です。特に今年度は、コロナウィルス感染予防のために、大きく変更点もあります。健康観察記録の実施などの事前準備も必要となりますし、持ち物も変更があります。必ず自身で熟読してください。

大学入学共通テスト当日もこの冊子を会場まで持参することになっています。学校に予備はありません。もらったら名前を書いておきましょう。

どんなに必死で勉強しても、当日余裕をもって会場に到着し、受験できなければ実力も発揮できません。そのためには、入念な準備が必要です。

○大学入学共通テスト自己採点（3年）

大学入学共通テストの翌日は自己採点日です。全員1時間目から登校してください。自己採点した結果は、河合塾と駿台ベネッセにそれぞれ提出します。毎年、全国の高等学校で同じ作業が行われています。各予備校はこのデータを集計し、どの大学にどの程度の志望者が集まっているか、合格可能性はどのくらいかを判定してくれます。この結果を踏まえて国立2次の出願を最終決定します。作業は午前中には終わります。

【今後の予定】

○全校集会 大掃除 12/25 金

○特別考查（1、2年） 1/4 月

○共通テストシミュレーション

（3年 原則として自宅受験） 1/7 木・8 金

○共通テスト 1/16 土・17 日

○共通テストリサーチ（自己採点） 1/18 月

○共通テストチャレンジ模試（1、2年） 1/20 水

○午前授業（40分） 大掃除 1/25 月

○都立推薦入試 1/26 火・27 水

次の「先輩方の言葉」は、新宿高等学校同窓会である「朝陽会」の方々のご協力で、毎号卒業生からご寄稿をいただいている。社会で活躍される皆さんの先輩方の貴重なメッセージです。

進路を考えるときに、ぜひ参考にしてください！

興味・関心を仕事にする生き方

株式会社電通 クリエイティブ・ディレクター

1996年卒（48回生） 須田 健太郎

私はいま、広告代理店の電通で「クリエイティブ・ディレクター（以下「CD」）」という仕事をしていて、コカ・コーラやパナソニックをはじめ様々な企業の広告を作っています。ジャニーズ事務所の「SixTONES」の広告もやっています。とてもやりがいのある楽しい仕事です。

こんな仕事に就くに至る幼少～大学時代のことを振り返ってみます。

その前に、「広告代理店」とはどんな会社か知っていますか？仕事は非常に多岐に渡り、全てを説明するとそれだけで終わってしまうので一部を簡単にまとめると、テレビCMやポスター、Web動画やバナー等のいわゆる「広告物」を作ったり、その広告を出すスペース（広告媒体）を売ったりする会社です。

さらに「CD」という職種はそんな「広告作り」の現場のリーダーで、チームを率いてキャンペーン全体を組み立てます。普通は新卒ですぐにCDを任されることではなく、コピーライター／CMプランナー／アートディレクター／デジタルプランナー……など、それぞれの専門分野で20年ほど経験を積んでようやくなることができます。私に関して言うと、元々「アートディレクター」と「デジタルプランナー」の両方を専門としていました。

幼少期は、暇さえあれば絵ばかり描いていました。10歳から画塾で勉強し始めますが、ちょうどその頃、たまたま遊びに行った友達の家（のお父さんの部屋）である衝撃的な物に出会います。「パソコン」です。PC-98という古い機種で、画面は白黒。カラフルなファミコンで遊ぶ友達を尻目に、簡単な描画機能でひたすら図形や迷路を描いて遊んでいました。何でそこまで惹きつけられたのかは分かりませんが、とにかく「これは物凄いものだ」と強く思ったのを覚えています。

そして新宿高校に入学して一年が経った頃、お年玉や親からの借金でようやく念願のパソコン（Mac）を入手し、デザインの真似事に夢中になります。三年生の時の朝陽際である部のポスターをMacで作ったのですが、おそらくそれが人生で初めて作った「広告」でした。

自分のそんな興味やスキルが活かせそうだと思い美大を志望するようになり、当時の美術科笠原先生の多大なるご支援のおかげで第一志望の多摩美術大学グラフィック・デザイン学科に合格することができました。

大学二年からは本格的に広告を勉強しつつグラフィック・デザインとコーディングにのめり込み、作品作りに熱中しました。その後、当時アメリカから日本に上陸したばかりのワイデン&ケネディという会社に飛び込みでそれらの作品を持ち込み、インターン生としてNikeの広告制作に携わり、現在の仕事の基礎が固まきました。

広告代理店で働くための経緯というよりは、絵やパソコンなど単に好きなことをやっていただけのように思えるかもしれません、それはあながち間違っていません。仕事のために何かを始めるよりも、自分の好きなことやできることを追求し、それが仕事になる方が幸せだとずっと信じてきました。

私がパソコンに出会った頃は、その後「デジタル」がほとんどのビジネスや生活の中心になるだなんて誰一人として想像していませんでした。そんなことお構いなしに得意だし好きだからという理由だけでどっぷりとその世界に浸ったことで、今の自分があるのです。

みなさんにも、自分の興味・関心について今一度真剣に向き合ってみて欲しいと思っています。例えそれが、現時点では既存のどの仕事にも当てはまらない事だとしても。

そんなみなさんが内に秘めている「新しい力」で、世の中をどんどんアップデートしていってもらえたと心から期待しています！